

山口県立大学学術研究推進共同体 FD

# 東日本大震災に伴う福島原発事故と避難生活 が児童生徒のメンタルヘルスに及ぼした影響

2024年11月12日(火)13:00~14:30

講師 三浦 正江 先生

Teams によるオンライン開催

## 【ご講演の概要】

2011年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、福島第1原子力発電所及び第2発電所事故が発生した。これにより、原発周辺地域の居住者は長期にわたる避難生活を余儀なくされ、児童生徒の生活やメンタルヘルスにも多大な影響を及ぼした。本発表では、福島県内の仮設住宅で避難生活を送る児童生徒を対象とした調査研究や教師、心理士、NPO職員などの支援者を対象としたインタビューの結果をもとに、震災後5年経過時点までの児童生徒の様子を多面的に紹介する。

## ◆ 三浦正江先生のご紹介

東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科 教授。副学長。教育支援センター所長。

専門分野:臨床心理学、教育心理学、健康心理学。特に、子どもの学校ストレス。

著書「学校、職場、地域におけるストレスマネジメント実践マニュアル」(共著、北大路書房)

「震災後の親子を支える：家族の心を守るために」(共著、心理学叢書)など。

主催:山口県立大学 学術研究推進共同体(本企画担当:佐々木直美)

(山口市桜島 6-2-1 e-mail: nsasaki@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp)

どなたでもご聴講いただけます。

学外の方は、右あるいは下のサイトからお申し込みください。

<https://forms.gle/4uZSVWcDEjTa8eyi9>

折り返し、こちらの PC のアドレス から、講演の1週間くらい前に、講演への招待メールをお送りします。PCからのメールの受け取り拒否をされている場合は、招待メールが届かないことがあります。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

